

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年8月20日 16時 ~ 16時15分	場所	オンライン
----	------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	自治会長
■■■■■	地域住民の代表者	歯科医
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	すすき野地域ケアプラザ ■■■■■

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

住民代表：（介護のことは良く分からないのですが、）皆さんが大変なことをされているとわかりました。
包括： 会議に参加してみて、自分も新規の方をご紹介しているので、イベントの様子などその方が登録された後にどのように過ごされているのかが分かる報告をありがとうございます。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

引き続き運営の透明性を心がけて施設の様子を知ってもらえるようにしていく。
歯科医の先生にご指導いただいたように誤嚥については今後も気をつけて、食形態の見直し等を継続する。
歯科医の先生にご紹介いただいたお粥の作り方を施設でも実践し、利用者にも食べてもらい好評だった。

7. 地域からの情報提供

包括： 1月に参加いただいたイベントを10月にも開催するので、是非利用者の方と参加してください。

8. その他特記事項

施設でも10月に運営推進会議を兼ねたイベントを計画している。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荏田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(7月 31日現在)	女性 19 名		男性 5 名		計 24 名		
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	3 名	6 名	4 名	5 名	6 名
平均介護度	3.2						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	13	0	13	
イ	18	9	1	
ウ	19	0	43	
エ	26	4	44	
オ	9	0	28	
カ	31	31	0	
キ	17	9	21	
ク	29	28	0	
ケ	9	0	23	
コ	23	30	9	
サ	27	6	40	
シ	20	11	18	
ス	27	27	8	
セ	9	0	9	
ソ	9	0	55	
タ	9	0	18	
チ	10	0	19	
ツ	23	19	7	
テ	11	4	14	
ト	0	0	9	
ナ	26	14	12	
ニ	31	31	0	
ヌ	22	22	0	病院より紹介
ネ	5	0	16	居宅より紹介
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	18	10	17	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念:その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標:チャレンジ、成長、自律と自立
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が何かやってみたいと思える環境づくり <p>【事業所と地域のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わる機会を設ける(例:地域の行事にご利用者様と参加) <p>【業務・職員について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境づくり、業務効率化に向けてICTの活用 ・『その人らしく生きる』を意識し必要なケアを皆で考えるために 月1回のカンファレンス及びチームケアを行う。 ・スタッフの成長をサポート

5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブメドレーアカデミー(eラーニング) 6月・・・「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」 7月・・・「身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修」</p> <p>○社外研修 7月 横浜市小規模連絡会のセミナー 市進ホールディングス介護合同管理者研修</p> <p>○行事 6月・・・流しそうめん、梅ジュース作り 7月・・・オンラインレクリエーション、避難訓練</p> <p>* フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加</p>

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・2件(内行政報告1件) ヒヤリハット・・・7件</p> <p>●事故報告</p> <p>事故①転落 朝4時ごろ、1階の利用者対応中に2階のセンサーが反応する。1階利用者居室内に誘導してからに戻ると、ベッドサイドの床に横になっていた。本人に確認すると「トイレ行こうとした」とのこと。外傷等はなし。</p> <p>事故②転落 6/29夜間。2階居室のご利用者、階段から転落。後頭部から出血あり、右耳の裏、腕、背中にかけて表皮剥離。意識はあり、声掛けにも返答している。主治医に連絡し、救急搬送の指示。長男様が同乗し、病院に搬送。後頭部6針縫合の処置後に事業所に戻ってくる。</p> <p>●ヒヤリハット</p> <p>①離設の危険 1Fのフロアの掃き出し窓から外に出ようとしていた。他利用者が途中で気づき職員に知らせたので対応できた。</p> <p>②カテーテル抜去の危険 車いすからベッドへの移乗時にウロバックのカテーテルが車いすのブレーキに引っかかった。</p> <p>③転倒の危険 移動時トイレのごみ箱に手をつき、ごみ箱ごとバランスを崩される。</p> <p>④誤嚥の危険 飲食時のむせ込みあり。</p> <p>⑤ケガの危険 レクリエーション後にハサミが置きっぱなしになっていた。</p> <p>⑥転落の危険 臥床時にベッドから両足が落ちていた。</p> <p>⑦転倒危険 ベッドからイスに移ろうとした際バランスを崩される。</p>
----	--

改善策	<p>事故①</p> <p>【原因】 職員は、1時間前にトイレに行っていたので、普段の排泄パターンだと、しばらくはトイレに行かないと思い1階の対応に入った。 利用者は全盲のため、転倒リスクが高い。</p> <p>【対策】 必ずしも排泄パターン通りとは限らないので、個室対応や別フロアへの移動の時には、1度現在のフロアの転倒リスク等が高い方の様子を見てから移動することを確認した。</p>
	<p>事故②</p> <p>【原因】 利用開始直後であったためほぼ付き添って見守りをしていたが、他フロアでの排泄介助のため、一時的に別フロアへ移動した。階段付近での転落防止のため、扉を施錠することになっていたが、他フロアの利用者で同時に覚醒された方がいて、行き来が多くなったため転落時は施錠していなかった。 本人の日中の状態から夜間に一人で階段まで歩行できると予測していなかった。</p> <p>【対策】 扉の施錠を徹底する。 新規アセスメントはADLを詳細に確認し、情報共有する。 利用開始の際にはアセスメントが十分でないこともあるため、夜間不穏の方などと利用が重ならないようにスケジュールを調整する。</p>
	<p>ヒヤリハット①</p> <p>【原因】 普段玄関から出ようとする方だったので、掃き出し窓から出ると予測していなかった。</p> <p>【対策】 日報の書式を変更し、ヒヤリハットの情報を朝の申し送り時に共有できるようにした。</p>
	<p>ヒヤリハット②</p> <p>【原因】 移乗時にウロバックのカテーテル位置の確認不足</p> <p>【対策】 移乗介助の前後には、必ずカテーテルの状態を確認する。 カテーテルに余裕を持たせて、移動を妨げない場所に設置することにした。</p>
	<p>ヒヤリハット③</p> <p>【原因】 動線上の掴まりやすい所にゴミ箱があった。</p> <p>【対策】 移動時の動線を再確認し、本人と手すりに掴まって移動できるように練習した。 ゴミ箱の位置を変更した。</p>
	<p>ヒヤリハット④</p> <p>【原因】 お粥提供の方に、柔らかめのご飯を出していた。</p> <p>【対策】 調理担当に任せきりにしないで、他職員も食事の配膳時に再確認をするようにした。</p>
	<p>ヒヤリハット⑤</p> <p>【原因】 ハサミを棚にしまい忘れ、レクリエーション終了後に確認をしなかった。</p> <p>【対策】 レクリエーション終了時の整理整頓の徹底。</p>
<p>ヒヤリハット⑥</p> <p>【原因】 臥床の位置が悪く、足を動かした際に足が落ちてしまったと考えられる。日中夜間とも覚醒不良時には足を動かすことが多くあることを把握しきれていなかった。</p> <p>【対策】 臥床位置を壁側に寄せて転落防止を行う。覚醒不良時に足をよく動かすことを周知し巡視の際も臥床位置などの確認を行う。</p>	
<p>ヒヤリハット⑦</p> <p>【原因】 靴をしっかりと履いていなかった。本人は視力が弱いためベッドと椅子の距離感を誤った可能性が考えられる。</p> <p>【対策】 離床時は靴をしっかりと履いていただく。職員は移乗時の見守りと声掛けをしっかりと行う。</p>	

7. 地域への情報提供

7/5(金)にミニ運営推進会議として家族会を開催。同時に消防署(青葉消防署荏田消防出張所)を招いての避難訓練を実施。
10月にもイベントに合わせての家族会を検討していますので、是非ご参加ください。

8. その他特記事項

7/22パート職員1名入職